

平成 24 年度版

わたしたちのくらしと税

～より良い社会のために～

勝山文化センター



白梅総合体育館



北房文化センター



美甘ドーム



まわりの 公共施設

蒜山郷土博物館



久世税務署



真庭市消防本部・消防署



はんざきセンター



公共施設は、他にもいろいろあります。歩いて探して

■発行

真庭地区租税教育推進協議会

■協力

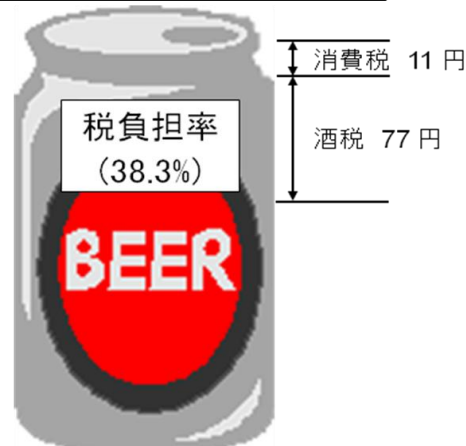
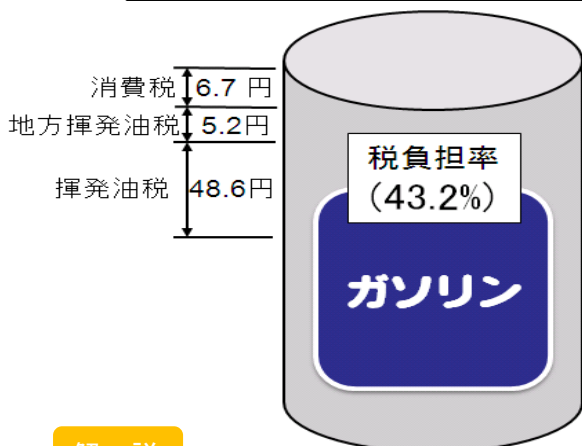
社団法人 真庭法人会

身近な税金

どれくらい税金が含まれているの？

1リットル140円のガソリンの場合
(税金60.5円)

1缶230円のビールの場合
(税金88円)



解説

一般的に言われているガソリン税とは、正確に言うとは揮発油税と地方揮発油税からなっています。本来、1リットル当たり揮発油税は24.3円、地方揮発油税は4.4円なのですが、当分の間は、1リットル当たり揮発油税48.6円、地方揮発油税5.2円と法律で決められています。

日本酒やワインなどのお酒にも「税金」がかけられていて、例えばビールにも「酒税」、「消費税」がかかっています。缶ビール350mlでは約40%が税金です。

お酒は、「嗜好品（しこうひん）」と呼ばれ、「生活するために必ず必要なものではない」ということで、税金が高くなっているのです。

社会問題

少子・高齢化が進むとどうなるの？

20～64歳人口の65歳以上人口に対する比率



解説

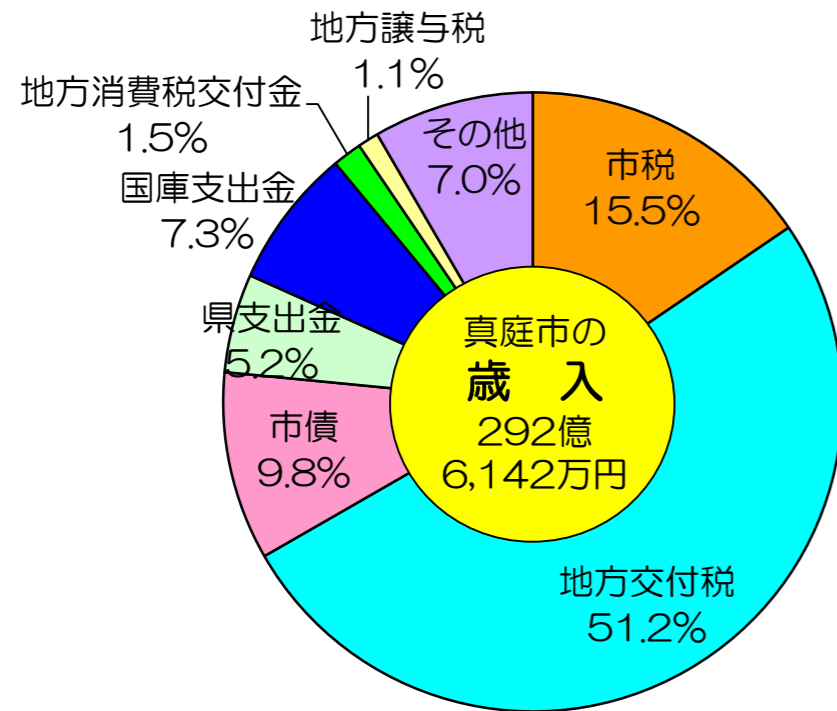
日本は、世界有数の長寿国です。現在子供の出生率が減少してきており、今後も総人口に占める65歳以上の高齢人口の割合は増加していきます。

また、年金は、働く人たちが支払う税金でまかなわれていて、2000年は高齢者1人を約3.6人、2010年は高齢者1人を約2.6人の働く人で支えていましたが、2020年には約1.8人の働く人で支えるようになります。

今まで一生懸命働いてこられたお年よりの生活を守っていくために、税金はとても重要な役割を果たしますが、そのぶん働く人たちの税負担が重くなります。

私たちが暮らす真庭市の税

●入ってくるお金



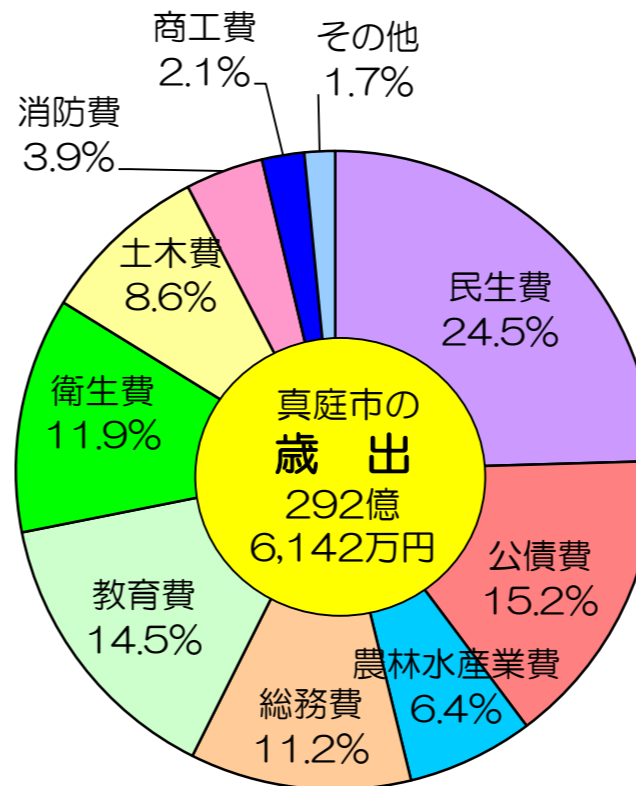
●地方交付税
すべての県市町村が、適切な水準の行政を行うために、国から渡されるものです。

●国庫支出金
国が、使い道を決めて、市町村に渡されるものです。

●県支出金
県が、使い道を決めて、市町村に渡されるものです。

●市債
下水道や道路の整備など、みんなの暮らしを支えるために借りられたものです。

●出ていくお金



●総務費
みんなの暮らしを支える事業をどのように行っていくか決めたり、行うために使われます。

●民生費
身寄りのない人などの生活の支えに使われます。

●衛生費
みんなの健康維持、ゴミの収集や処理などの生活環境の整備に使われます。

●農林水産業費
産業の発展を支えたり、水害などの災害のときの救助に使われます。

●土木費
道路や橋などの整備や災害などで壊れたところの補修に使われます。

●公債費
下水道や道路の整備など、みんなの暮らしを支えるために借りたお金や利子の支払に使われます。

一般会計 市民一人あたりの支出額(1年間) 586,271 円 人口49,911人 (平成24年4月1日現在)		民生費 143,901 円	公債費 89,274 円	教育費 85,036 円	衛生費 69,912 円	総務費 65,635 円	土木費 50,249 円
農林水産業費 37,569 円	消防費 23,075 円	商工費 12,559 円	議会費 5,092 円	労働費 156 円	災害復旧費 462 円	予備費 2,004 円	諸支出費 1,347 円

税はみんなのまちで有効に使われています。